



2024年2月1日
 聖心女子学院初等科
 校長 大山 江理子
 2月号

学年末に向けて

ふり返りと分かち合い

校長 Sr. 大山 江理子

学習発表会が近づき、子どもたちは練習に励んでいます。学習発表会はこれまでの学習の成果を保護者の皆様に見ていただく機会です。生活の授業やみこころの時間に調べたことを元に取り組んでいます。5・6年生にはそれぞれの作品の発表の機会もまた別に設けられています。そして、いよいよ学年末が近づいてきます。1年間の歩みをふり返る時です。今の学年をふり返って、次の学年に向けて心構えを整えます。

「ふり返る」とはどのような活動でしょうか。たとえば、前と後ろで言えば、ふり返るのは「後ろ」です。しかし、「後ろ向きにならない、前を向く」、「後ろ向きな発言をしないで、前向きに考える」など、「後ろ」には、ネガティブな意味合いを込められることがあります。確かに、過去にこだわって前には進めません。新たな気持ちで前進し、これから来る新たなものに向かわなくてはなりません。一方で、過去から学ぶことはとても大事です。そうすると、ふり返りは、後ろ向きでない「過去の見つけ方」と言えるかもしれません。

ふり返りでは、それまでの自分の歩みを見直します。過去の出来事を反省する、という悪かったこと、不足な点を改めるために探す、という赴きがでてきますが、ふり返りでは、まず、できごとを丸ごと受けとめて、心に残っていることがらに気づき、その理由を尋ねてみるということから始まります。良かったこと、うれしかったことに気づくことも大切です。そこからこれからも続けたいことがらに気づくかもしれませんし、これからさらに活かせる工夫に気づくかもしれません。

逆にうまく行かなかったこと、悲しかったり嫌な思いをしたりしたこと気づくかもしれません。その時には、その事柄が自分に語りかけていることをていねいに感じとってみたいものです。起こった出来事そのものは変えられませんが、見方は変えられるものです。じっくり考えてみたら、同じものごとでも、異なる面が見えてくるかもしれません。たとえば、助けてくれた人の存在に気づくとか、自分自身のあり方に感じるものがあるとか、新たな気づきが得られればうれしいことです。ふり返りでは何か新たな気づきを得ることが大事なことです。

とは言え、ふり返って新たなことに気づくのは容易いことではないかもしれません。その時に助けになることは「分かち合い」です。同じことを体験しても、ふり返りをしてみると、人により気づくことが異なります。分かち合いをして、お互いのふり返りを聴き合うと、その違いの中から気づかされるものは大きいものです。学校では、「学年の集い」がこのふり返りと分かち合いの時にあたります。子どもたちの成長を感じる時です。ご家庭では、お子さんの日々の出来事の話に耳を傾けてくださるとき、ふり返りと分かち合いがなされます。ものごとの結果にこだわらず、決めつけたりせず、お子さんが自由に考えられるような問いかけをすると、お子さんは落ち着いてじっくりとものごとを見られるようになっていきます。そのときにお子さんの視点は多角的で前向きなものとなり、新たな気づき生まれることでしょう。学年末に向かう時期、よいふり返りができることを期待しています。



【朝礼での祈り】



【前期の学年のつどい】

今 自分にできることを

教頭 吉岡 真左美

1月1日、希望に満ちた気持ちで新しい年の始まりをお祝いしていたその時、能登半島で大きな地震が発生し、一転して不安が心に重く広がる状況となりました。ご親族やお知り合いの方が被災された方もいらっしゃるかもしれません。心よりお見舞い申し上げます。ニュースで被災地の様子を知るたびに、お祈りと共に、「私（たち）にできることは何だろう」と考える人は多くいると思います。不安の中にあっても他を思いやる気持ちを持つことができるのは、人間が持つすばらしい性質だと思います。初等科でも、児童会の呼びかけに多くのご家庭が協力をしてくださり、心のこもった募金が集まりました。

聖心で大切にしている「思いやり」を育むために、日頃から学校生活の中で子どもたちに投げかけをしています。身近にいるお友だちや先生方、校内で警備やお掃除などのお仕事をなさっている方々、登下校中に会うバスや電車のお仕事をなさっている方や乗客の方々…その方々に「自分ができごと」を考えたり行動に表したりすることができると、マザーバラの願いである「社会に貢献する女性」につながっていきます。理事長のシスター宇野が初等科にいらした際に、「心の中に誰かが入れる隙間を作りましょう。自分のことだけで心の中がいっぱいにならないように…。」というお話をしてくださいました。この視点も、他者を思いやる姿勢につながっていきます。

ご家庭でも色々な場面で投げかけてくださるので、その積み重ねは大きいと思います。「今、自分は何ができるか」「何をするとよいか」を考えたり、それを実行しようとする力が子どもたちの中に育っていくのを感じます。卒業生が職場にいるという企業の方のお話を聞く機会があり、「そういった思いやりの心が自然に身について、さりげない行動にも表れているところが、聖心で学んだ方の最大の強みですね。」と仰ってくださいました。

今週末に行われる学習発表会に向けて、皆で力を合わせて準備や練習に取り組んでいる姿や、来年度5年生に転入する方々のオリエンテーションの際に、進んで声をかけ関わろうと頑張っていた4年生の姿、その他色々な場面で「今、自分にできること」を考えて実行する姿を目にするととてもうれしく、たのしく感じます。これからも大切に伸ばしていきたい資質です。



【総練習で】



【展示準備】



【新5年転入編入生オリエンテーションで】

2月の行事予定

- | | | | |
|-------|---|---------------|-----------------|
| 2日(金) | 学習発表会児童観覧日 | 11日(日) | 建国記念の日 |
| 3日(土) | 学習発表会 | 12日(月) | 振替休日 |
| 4日(日) | 学習発表会予備日 | 13日(火) | 5年みこころ発表会(3-6限) |
| 5日(月) | 学習発表会代休日 | 14日(水) | 灰の水曜日 |
| 6日(火) | 6年カトリック音楽会 | 14日(水)~15日(木) | 6年卒業研究発表会 |
| 7日(水) | 2年保護者会 | 19日(月) | 1年保護者会、5年保護者会 |
| 8日(木) | 4年まとめのテスト(1・2限)
私学半日研修
(3限まで授業・午後は家庭学習) | 20日(月) | 4年保護者会 |
| 9日(木) | 3年保護者会 | 23日(水) | 天皇誕生日 |
| | | 29日(木) | 感謝のミサ(4限) |

